産婦人科の書を提出！！

県立脇沢病院の産婦人科医師が6月中旬に定められた暑中と下旬に退休と休職による2名減となることにより、脇沢病院の脅威が急激化されることから、緊急事態として一刻も早く県知事等に意見書を提出するため、市議会定例会が6月8日招集された初日には、議員発議として提出し、同日午後県庁知事会において小野沢記念講師により発表される知事に意見書を提出しました。

平成31年度第2回定例会は6月8日に始まり、6月22日までの期間で開催され、人権対策委員の推薦により、意見書を提出することについて、第3件（水産学校改修等建設等工事の請負契約の締結に関すること）の提案を行った提案が採択された。県知事等は、意見書の内容について、県と市との対策を検討することが求められている。